

2011年度の連邦研究開発センターの研究開発費は約178億ドル（3月）

米国科学財団（National Science Foundation：NSF）が行った年次調査「2011年度米国科学財団連邦研究開発センターにおける研究開発費歳出調査（FY 2011 NSF FFRDC R&D Survey）」のデータによると、2011年度の連邦研究開発施設（federally funded R&D center：FFRDC）40機関による研究開発（R&D）費歳出額は約178億ドルであったという。このうち、97.6%にあたる174億ドルのR&D費は、2009年米国再生再投資法（American Recovery and Reinvestment Act of 2009：ARRA）により拠出された約8億5,000万ドルを含む連邦予算でまかなわれており、それ以外のR&D費は、企業（1.1%）、非営利団体（0.3%）、州及び地方政府（0.2%）、その他の資金源（0.8%）から拠出されている。2011年度のその他の傾向としては、①同年度のFFRDCにおけるR&D費の内訳は、基礎研究活動37%、応用研究29%、開発34%、②同年度のR&D費歳出額が10億ドル以上であったFFRDCは、米航空宇宙局（National Aeronautics and Space Administration：NASA）のジェット推進研究所（Jet Propulsion Laboratory、カリフォルニア州）以外は全てエネルギー省（Department of Energy）傘下の国立研究所、③2008年度から2011年度の間にはFFRDCによるR&D歳出額は20億ドル（14%）増加、などが挙げられる。

National Science Foundation, Federally Funded R&D Centers Spend \$17.8 Billion on R&D in FY 2011

<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf13316/>